

- ◆ごあいさつ
 - 山形県農業協同組合中央会代表理事会長 折原 敬一 1
- ◆第48回「ごはん・お米とわたし」作文・図画コンクール入賞一覧 2
- ◆図画部門
 - 図画1部／全国優秀賞・山形県知事賞
山形県農業協同組合中央会会長賞 3
 - 図画2部／山形県知事賞
山形県農業協同組合中央会会長賞 4
 - 図画3部／全国優秀賞・山形県知事賞
山形県農業協同組合中央会会長賞 5
- ◆作文部門
 - 全国農業協同組合中央会会長賞 6
 - 作文1部／山形県知事賞 8
山形県農業協同組合中央会会長賞 9
 - 作文2部／山形県知事賞 10
山形県農業協同組合中央会会長賞 11
 - 作文3部／山形県知事賞 12
山形県農業協同組合中央会会長賞 14
- ◆審査講評
 - 作文部門審査講評 山形市立第十小学校校長 樋口 潤一 16
 - 図画部門審査講評 大江町立左沢小学校校長 建部 敦 17
- ◆第36回～第48回 入賞一覧 18
- ◆審査経過の概要 20
- ◆募集要領 21



ごあいさつ

山形県農業協同組合中央会
代表理事会長 折原 敬一

第四八回「ごはん・お米とわたし」作文・図画コンクールに応募いただいた児童・生徒の皆さん、とても素晴らしい作品をありがとうございました。心からお礼申し上げます。
また、入賞された皆さん、誠におめでとございます。心からお祝い申し上げます。

私たちJAグループは、次代を担う小・中学生の皆さんに、古くから日本の食卓と国土を育んできた稲作農業、「ごはん食と健康の結びつきを見直してもらうため、昭和五二年度からこのコンクールを実施しており、今年度で四八回目を迎えます。

今回は、県内の小・中学校から作文二・三・三・八点、図画二〇〇八点もの力作を応募いただき、全国コンクールに推薦するとともに、県コンクールにおいては、山形県知事賞、山形県農業協同組合中央会会長賞、優秀賞、学校奨励賞を選考いたしました。

全国コンクールにおいては、作文部門三部で全国農業協同組合中央会会長賞、図画部門一部と三部で優秀賞を受賞する成績を収めました。これは入賞された皆さんのご努力はもちろんのこと、ご指導いただきました学校の先生方をはじめ、保護者の皆様、審査委員の先生方、そして山形県ならびに各JAのご支援・ご理解の賜物と心から感謝申し上げます。

今回応募いただいた作品は、田植えや収穫作業「ごはんをおいしそうに頬張る様子などをいきいきと表現したものや、「ごはんを通じた家族との温かいつながり、お米やふるさととの素晴らしい価値などを豊かに表現したものなど、心に響く作品ばかりでした。ごはん食や農業の果たす役割の大きさ、ありがたさが素直に表現されており、日本人の生活とお米は、深く結びついていると改めて実感させられました。

どうか皆さん、普段何気なくごはんを食べることが出来る幸せを忘れないでください。また、お米をはじめとした農畜産物を作る農家の苦勞や努力を感じ、感謝の気持ちを大切にしてください。そして、自然や生き物

すべての命を大切にすることを、いつまでも持ち続けてください。
現在、日本は、世界中の国々と貿易を行い、食料の多くを外国から輸入しています。皆さんは、私たちが毎日食べている食べ物や、どこで作られたものなのか知っていますか。食べ物全体のうち、どのくらい日本国内で作っているかを示す食料自給率は三二・八％であり、先進国の中では最低の水準にあります。世界的には、人口の増加により食料が足りなくなることが心配されており、それぞれの国が食料自給率を向上させることが大事なことで考えています。

私たちJAグループは、地元産をはじめとした国産農畜産物の消費拡大や皆さんの安全な食生活の確保に向けて、日本人の主食である「ごはん」を中心とした日本型食生活の推進、学校給食における安全・安心な農畜産物の提供、「食」と「農」の大切さを伝える食農教育の推進、国民が必要として消費する食料は、できるだけ国内で生産する「国産国産」の国民的理解促進に向けた取り組みに二層努力してまいります。そして、農業者や地域の皆様にとって「なくてはならないJA」となれるよう、引き続き様々な取り組みを進めてまいりますので、これからもご理解・ご協力を願います。

さて、本県産「つや姫」は、平成二三年のデビュー以来、多くの方々から好評をいただき、皆さんにとっても馴染みのお米となったことと思えます。「つや姫」に続き、平成三十年にデビューした「雪若丸」も、「元気な粒に、うまさぎつしり」のキャッチフレーズのとおり、粒立ちがしっかりしていて、さまざまな料理と相性が良いことから、大変ご好評をいただいております。本県では、このほかにも、「はえぬぎ」などのおいしいお米をたくさん作っています。私たちは、これからも安全・安心でおいしいお米を皆さんにお届けしてまいりますので、応援をよろしくお願いいたします。

最後に、当コンクールをますます発展させていただきますよう皆様からのご協力をお願い申し上げます。あいなつといたします。

第48回「ごはん・お米とわたし」

作文・図画コンクール入賞一覧

(敬称略)

全国審査における入賞者

- 全国農業協同組合中央会会長賞
(作文 3部) 黒澤 堅仁 米沢市立第四中学校 1年
- 全国優秀賞
(図画 1部) 加藤 亮太 尾花沢市立宮沢小学校 1年 (図画 3部) 加藤晃士郎 米沢市立第二中学校 2年

山形県審査における入賞者

作文部門

- 1部 (小1~3年)
山形県知事賞 石澤 悠大 山形市立第四小学校 2年
山形県農協中央会会長賞 水野ひかり 鶴岡市立京田小学校 3年
優秀賞 東海林 叡希 山形大学附属小学校 1年
丹野 彩輝 村山市立楯岡小学校 3年
矢作 莉夢 大蔵村立大蔵小学校 3年
三浦 莉央 鮭川村立鮭川小学校 3年
渡部 敬太 高島町立和田小学校 3年
- 2部 (小4~6年)
山形県知事賞 加藤 零風 最上町立大堀小学校 6年
山形県農協中央会会長賞 伊藤 学玖 大蔵村立大蔵小学校 6年
優秀賞 渡會 寛介 鶴岡市立榊引西小学校 4年
平 晨備 村山市立楯岡小学校 5年
仲田 百杏 高島町立糠野目小学校 5年
安食 菜夏 戸沢村立戸沢学園初等部 6年
田村 理音 米沢市立北部小学校 6年
- 3部 (中1~3年)
山形県知事賞 水吉 琥太郎 米沢市立第二中学校 1年
山形県農協中央会会長賞 戸田 寛幸 米沢市立第一中学校 1年
優秀賞 鈴木 聡真 米沢市立第一中学校 1年
梅津 琴美 米沢市立第四中学校 1年
山田 悠斗 米沢市立第四中学校 3年
紺野 心夢 白鷹町立白鷹中学校 3年
高橋 羽奏 飯豊町立飯豊中学校 3年

●学校奨励賞

大蔵村立大蔵小学校
米沢市立第四中学校

図画部門

- 1部 (小1~3年)
山形県知事賞 加藤 亮太 尾花沢市立宮沢小学校 1年
山形県農協中央会会長賞 三浦 陽太 尾花沢市立尾花沢小学校 2年
優秀賞 石沢 大地 尾花沢市立尾花沢小学校 1年
伊藤 優汰 南陽市立中川小学校 1年
鈴木倫太郎 尾花沢市立尾花沢小学校 2年
小貫 愛華 尾花沢市立玉野小学校 2年
高橋 丈琉 尾花沢市立玉野小学校 3年
- 2部 (小4~6年)
山形県知事賞 遠藤 優馬 米沢市立南原小学校 5年
山形県農協中央会会長賞 遠藤 澄人 鶴岡市立斎小学校 4年
優秀賞 秋保 夏鈴 尾花沢市立常盤小学校 4年
小林 由芽 最上町立向町小学校 4年
瀬尾優香菜 山形市立第四小学校 5年
小林 亜門 川西町立小松小学校 5年
齋藤 和音 鶴岡市立羽黒小学校 5年
- 3部 (中1~3年)
山形県知事賞 加藤晃士郎 米沢市立第二中学校 2年
山形県農協中央会会長賞 高橋 桃子 山形市立第五中学校 2年
優秀賞 柿崎 翠里 山形市立第六中学校 1年
川合 海音 山形市立第五中学校 3年
佐藤 七渚 鶴岡市立榊引中学校 3年
佐藤 祐菜 鶴岡市立榊引中学校 3年
渡会ひより 鶴岡市立榊引中学校 3年

●学校奨励賞

尾花沢市立尾花沢小学校
鶴岡市立榊引中学校

●全国優秀賞／山形県知事賞

「たごえのひ」



尾花沢市立宮沢小学校 1年
加藤 亮太

●山形県農業協同組合中央会会長賞

「えんそくで、おなかいっぱいはんを食べた」



尾花沢市立尾花沢小学校 2年
三浦 陽太

●山形県知事賞●

「田植え体験を楽しもう」

米沢市立南原小学校五年

遠藤 優馬
えんどう ゆうま



●山形県農業協同組合中央会会長賞●

「ばあばのおにぎり世界」

鶴岡市立斎小学校四年

遠藤 澄人
えんどう すみと



●全国優秀賞／山形県知事賞●

「おいしいお米 おいしいおむすび」

米沢市立第二中学校二年

加藤 晃士郎
かとう こうしろう



●山形県農業協同組合中央会会長賞●

「おじいちゃんのおんぼで稲刈り」

山形市立第五中学校二年

高橋 桃子
たかはし ももこ



お米とわたし

米沢市立第四中学校一年

黒澤 堅仁
くろさわ けんと

僕は二〇一七年から五年間岡山県の北部に位置する久米南町で、北庄中央棚田天然米生産組合の一員として、米づくりに携わりました。北庄中央棚田天然米生産組合とは先人から継承されてきた美しい棚田を生かし、棚田天然米生産農家の維持、育成を目的とした組合です。僕はその棚田守り隊として活動をしました。

棚田は一般的に標高が高く、水のきれいな水源が近くにあり、昼夜の寒暖差が大きいなどからおいしいお米の生産が可能と言われています。初めて棚田を見た時、その景観の素晴らしさに感動し心がいやされたことを覚えています。米を収穫するまで

ります。刈っても刈っても稲が残っていますが機械を使って稲刈りを再スタートすると、みるみる稲が刈り進み、一瞬で刈り終えました。機械は便利、昔の人は凄いと改めて感じました。

次に、ハザガケはたくさん刈り取った稲を天日干しにする作業です。ふとんを干すような感覚でせつせと行い、あつというまに全て終わることができるので、米を作る作業の中では、一番簡単で二番楽しい作業です。そして最後は、一粒もむだにしない千歯抜きという道具で脱穀をします。千歯抜きは木の台の上から鉄製のくし状の歯が水平に突き出した形をしていて、木製の台に付属した足置きを踏んで体重で固定し、稲の束を振りかぶってたたきつけ、引いて米を取る道具です。その道具は力が必要でしたがきれいに米が取れて気持ちよかったです。

四季を通して、米づくりは沢山の労力と愛情がそそがれ、一粒一粒の米として僕達の食卓へやって来ます。

には、一つ一つの作業がとても大変です。田植え前の田んぼで、たくさん友達と一緒にドッチボールや綱引き、フラック取り競争などをし、土を存分に味わえたのはいい経験になりました。

代かきは、苗を植えつけやすくするためにみんなで協力して田んぼをまんべんなく均す道具で均します。土が重くて腕が悲鳴をあげていました。

田植えは、機械を使わずに手作業で植えていきます。組合の方と一緒に、縦横揃えて苗を土の中に上手に植えることがなかなか出来なかったですが、繰り返し行っていくうちにコツを覚え、きれいに植えつけられた田んぼの風景が気持ちよかったです。

夏には、草刈り作業であぜの方にある雑草など、細かいところまでしっかりと見つけ出し、取っていく地道な作業で夏の暑さとの戦いでしたが、作業後に地域の方々たちが作ってくれた猪肉カレーで疲れが一気に飛んでいきました。

稲刈りでは、昔ながらの道具、かまで稲を刈り取

お米を作ったことで農家さんへの感謝の気持ちがとても大きくなり、おいしいごはんを食べられるありがたさを、日々感じるようになりました。僕の家では、土鍋で米を炊きます。炊けるまでの過程が透明のガラスのふたから見えるので食欲をそそられ、僕はご飯が大好きになり、おかわりしています。「いただきます」とは敬意を表す動作から生まれた言葉です。現在ではその敬意は、肉や魚、卵はもちろん、野菜や果物を含めて、食材の「命」そのものに向けた言葉と捉え直されています。「ごちそうさま」とは、私たちが生きていくために命をくれた動物や植物、手間をかけてくれた人たちに対しての感謝の気持ちを表す言葉です。「いただきます」「ごちそうさま」は、当たり前前に使っている言葉ですがしっかりと意味がありました。

だから僕達が大人になったとき次の世代の子ども達に食への感謝の気持ち、食の大切さを伝え、同時に、機械の便利さを教えていきたいです。

●山形県知事賞●

ぼくのおにぎり

山形市立第四小学校二年

石澤 いしざわ 悠大 ゆうだい

ぼくが三さいのとき。びょういんのかえりに、おかあさんとやおやに行きました。そのやおやさんは、やきいもおいしくて、のうかの人がつくったおこめもたくさんうっているところでした。たまごはんがたけたようでおみせの人がおにぎりをつくってくれました。レジのおばさんが「これどうぞ」とわたししてくれたおにぎりは、手のひらぐらいの大きさでほかほかとしていました。おこげもついていました。ちよつとしょっぱくて、やわらかいおにぎり。これまでたべた中で、いちばんおいしかったです。それからぼくは、ごはんがすきになりました。学校でもたんにんの岩田先生があまったきゅうしよくのごはんをおにぎりにしてくれま

す。やおやさんのおにぎりにあじがにいて、とてもおいしいです。おかあさんがおべんとうをつくってくれるときは、いつもおにぎりをリクエストしています。おうちでたべるごはんもおいしいけど、なにがちがうのだろう。たきたてだからかな。おこめのしゆるいがちがうからかな。おみせの人がつくったからかな。それとも、びょういんにいったからかな。ぼくは、小さいころからぜんそくでよくびょういんにいっていました。にゅういんしたこともあって、そのときのごはんは、あじがちがいました。体がげん気だとおいしいのかな。かぞくでたべるとおいしいのかな。おいしいってふしぎだな。

●山形県農業協同組合中央会会長賞●

私の幸せ！手作り塩むすび

鶴岡市立京田小学校三年

水野 みずの ひかり

「ごはんのおかわりをする人はいませんか。」給食の時に先生の声がすると、私はいつもすぐ手をあげます。先生がバットにのこったごはんで作る塩むすびは、とってもおいしくて、おかわりがあるとうれしくなります。

私の家や学校のまわりは田んぼでかこまれています。私は、学校までの二キロの道を田んぼを見ながら、毎日歩いています。

春、まだ小さかったいねのなえは、だんだん大きくなって緑がこくなります。夏には白い小さな花を田んぼいっぱいにさかせて、あつという間に黄色にへんしんしていきます。私はこのへんかを感じながら、歩くのが好きです。今はもう、黄金色。もうすぐ、新米の季節です！

私はごはんが大好きです。あの「ふわっ」とし

た食感。おかずにも合うし、ゆかりなどのふりかけにも合います。ごはんは、何にでも合う「万のうせん手」だと思います。

私は、この夏休みに大好きな塩むすび作りにちようせんしました。さいしょに米とぎをしました。お米をこぼさないように水をすてるのがむずかしかったです。

「手のひらをなべのふちにそえて、少しずつなめにしてみて。」

おばあちゃんに教えてもらったやり方でやってみると、一つぶもこぼさないでできました。次は水をはかって、スイッチ、オン。一時間後にたき上がったごはんは、ふつくら、つやつや。でも、たきたては、熱くてにぎれません。おばあちゃんに、おわんを二つ使って作るやり方を教えてもらって、コロコロんとふつてみると、ふつくら丸いおにぎりができる上がりました。しあげに塩を少々。ごはんのあまさと塩のしょっぱさがちょうどよくまざり合った、さい高においしい塩むすびができました。お米の一番おいしい食べ方は塩むすび！明日の給食でも、あるといいな塩むすび。

●山形県知事賞●

一粒一粒が生きている

最上町立大堀小学校六年

加藤 零凰

去年、大好きだった私のおばあちゃん「久美ちゃん」が天国に旅立ってしまいました。久美ちゃんとは、一年生の冬にとつぜんたおれてしまったからコロナウイルスですつと見えなくてやつと会えた久美ちゃんは、目をずつとつぶっている久美ちゃんでした。

夜のお店をしていたので、夜ご飯を作ってくれてから毎日、仕事に行っていました。

今でも、ご飯を見ると久美ちゃんを思い出して、うれしくなります。私の中では、ずつと一粒一粒が久美ちゃんとの思い出を想い出させてくれるうれしいご飯の時間です。

学校で調理実習などもあり、料理をする時間が家でも増えてきたので今度は私が料理をして家族を笑顔にできたら良いなと思います。

私の家では、田んぼはしてないのでスーパーから買って食べます。私は、白いお米も好きだけど、もちが大好きです。おもちをうすでみんなでついた時はお米の変化を見ているのがとても、ふしぎで面白かったです。

久美ちゃんが、正月などで作ってくれた私の大好きな、五目ご飯を私も作れるように六年生でがんばりたいと思います。

す。ご飯がいつもあることは、幸せな事で「ありがとう。」と言う気持ち大切にすることを命をかけて教えてくれたのが久美ちゃんでした。

コロナがなかったら、病院や施設に私の作ったおにぎりや元気になる食べ物を持っていつてあげたかったな。今は、コロナがなくなつて面会とかも出来るので少しくやしいなと思う日があります。本当は、もう一回話したいし会いたいし、やりたい事たくさんあります。でも強く強く生きていられる今の自分が居る事は、久美ちゃんのおかげだと思っています。

天国で笑って私や家族を見守っていてほしいです。お米の作文だけど、私の思い出話のような作文になってしまいました。でも、ご飯は私にとつてのかけがえのない人を思い出させてくれる時間なので一生お米とご飯の時間は私を笑顔にさせてくれると思います。そして、色々な料理を覚えて家族を助けられるように、だれか一人でも笑顔にさせられるように私はこれからもがんばります。

きつと久美ちゃんに、がんばっている自分が届いていると信じて。

私は、カエルがとても苦手なので田んぼをしたりする事は、出来ないけどだれよりもお米、ご飯の時間はこれからも大切にしていきたいです。夏休み中に色んな料理に、ちょうせんしてみたいと思います。

私の大好きな、大好きな久美ちゃんずつと私の心の中で生きています。

そして、お米一粒一粒が思い出の時間。

こんなに、すてきな心を教えてくれたのも久美ちゃん。ずつとずつとお米を私は大切に一生していきます。

●山形県農業協同組合中央会会長賞●

一粒の米

大蔵村立大蔵小学校六年

伊藤 学玖

ぼくが食事のときに心がけていることは、米を一粒も残さず食べることです。これは、小さいころから父にずつと口うるさく言われてきたことです。母から聞いた話では、三歳ぐらいのときは、自分ではうまくできず、

「あつまれして。」

と保育園の先生に米粒を集めてもらおうようにお願いしていたそうです。米を一粒残さず食べることは、ぼくの小さいころからの習慣になっています。

父の実家は、米農家です。ぼくが毎日食べている米は、祖父とおじが作っています。ぼくは、学校で田植えをしたことがあります。ぬかるんだところで、苗を一つ一つ真っ直ぐに手で植える作業は、とても大変でした。農家の人たちは、機械で苗を植えるので時間短縮にはなるけれど、それでも何日もかけて田植えをします。そして、収穫するまでには、たくさんの苦労があると思います。

二年前、ぼくの住む大蔵村は、大雨で洪水が

起きました。最上川が氾濫し、田んぼや畑、住宅まで水につかりました。おじは、このような自然災害が米作りで一番大変だと言っていました。災害は予想できないし、人間の力ではどうすることもできないからです。その他にも、米作りは、日照りや収穫時の長雨など、天候との戦いなんだとも話してくれました。様々な気候条件の中でも、どうやったたらうまく育つのかを常に考えながら、状況に合わせた米づくりをしているそうです。

収穫の秋、ぼくは、父の稲刈りの手伝いについていくときがあります。コンバインで収穫したもみを軽トラックで運ぶ仕事です。黄金色に輝く田んぼの中でかんそうした稲の香りをかぐとき、ぼくも喜びを感じます。稲刈りが終わると、稲刈りを手伝ってくれた人たちと、「刈り上げもち」をつきます。テーブルの上にごちそうやもちがたくさん並び、盛大にお祝いします。自然相手の米づくりは大変な苦労が多いだけに、その節目節目で労をねぎらい、農作を祈願する「文化」があるのだと思いました。

父はそんな米作りの大変さを小さいころから側で見えたので、米粒一つにも口うるさく言うのだと思います。ぼくは、これからもおいしいお米を作ってくれた祖父やおじに感謝し、大切に味わいながら一粒残さず食べるように心がけていきたいです。

●山形県知事賞●

祖父の背中を追って

米沢市立第二中学校一年

水吉 みずよし 琥太郎 こたろう

真っ白な米。色鮮やかな野菜や果物。それらを育てているのは僕の祖父だ。僕は幼いころから農家を営む祖父を見て、かっこいいと思っていた。

農家の仕事は、毎朝早く起きて水やりをしたり、暑いなか野菜を収穫したりなど大変なことがたくさんある。しかし、祖父はとても楽しそうな顔で作業している。僕には、絶対できないことだと思った。僕には、祖父がなぜそんなにがんばれるのか不思議だった。そこで僕は、祖父に聞いてみた。

「おじいちゃん、なんでそこまで大変なことを楽しそうにできるの?」

「米や野菜を育てるのが好きだからだよ。」

「そんなことを考えていたんだ。じゃあ、一番嬉し

い時っていつ?」

「それは、やっぱり収穫の時だな。がんばってきてよかったと思えるからな。」

農業について話す祖父の顔は、いつも通りの笑顔だった。しかし、その笑顔の中にも真剣な眼差しが伝わってきた。こうした祖父の姿に、僕は尋ねたいことがあふれてきた。テレビでは、日本の農業について様々な情報があふれている。僕は、祖父が農家であることから興味を持って観ることもあった。

「日本の米や作物が海外で高い評価を得ているって聞いたけど、おじいちゃんはどう思ってる?」

「日本は外国と違って土地が狭いから、丁寧に手作業で作物を育てなければならぬことが多いだろ?だから、良い作物が作れるんじゃないか?」

僕は小学生の頃、手作業で苗箱を作ったり、親戚にも手伝ってもらって手作業で米や果物を世話したりする姿を見たことがあった。それは、正に僕の祖父が米や野菜をとっても好きで大切に育てているのだと気づかせてくれる思い出だった。

を見ると張り合いが出るしな。」

さらに祖父は、

「琥太郎のひいひいじいちゃんが農家をしていて、じいちゃんは後を継いで農家になったんだ。農業高校で勉強したんだよ。」

と教えてくれた。初めて知る祖父の歴史。その一語一語を語る祖父の姿は、本当に農業が、米が好きだとわかる熱の入った姿だった。

そして祖父は、

「先代の姿を見て育ったんだ。『親の背中を見て育つ』っていう言葉があるだろ?その言葉みたいに先代の姿を見て、憧れて農業を継いだんだ。」

とも教えてくれた。祖父の背中には農業への情熱が感じられた。

「おじいちゃん、俺もおじいちゃんのように好きなものを最後まで続け、本当に好きなことを仕事にできるようにがんばるよ。」

僕の祖父は、僕にとってあこがれの人だ。

僕の住む米沢の水田では、春は水田に映る景色が美しく、夏はたくさんのお米が植えられて緑でいっぱいになる。その期間に農家の方達は種まきや苗作り、田植えなど大変な作業をしている。僕の登下校の際にも目に映ることがあるが、祖父の言う通りとても丁寧に育てていることがわかる。

けれども祖父は、
「日本の農家も外国の農家も、自分たちの仕事を楽しくできれば、きつと作物の品質は変わらないはずだよ。」

と語った。祖父にとって外国の農家は大地に真剣に向き合い、切磋琢磨して共に高め合うライバルなのだと思う。

米沢市も最近では水田が宅地化されて離農者も増えている。祖父は、こうした現状をどうみているのだろうか。

「おじいちゃんは、これからも農家を続けていくの?」

「おいしい食材を作り続けて、みんなの笑顔が見られるようにしたい。家族が『おいしい』と言う顔

●山形県農業協同組合中央会会長賞●

僕のチャーハン

米沢市立第一中学校一年

戸田 寛幸とだ ひろゆき

「ちよつとお腹すいたなあ。」

僕は炊飯器をのぞく。中身が空っぽなのを見て、次はおひつをのぞく。おひつにはぎゅうぎゅうに詰まったご飯が入っているのが見えた。「よしよし。」と冷蔵庫から卵を取り出す。フライパンに油をひいてご飯を炒める。ある程度炒めたところに卵を入れて塩コショウで味付け。最後に醤油をちよつとだけ入れて完成。この自作のチャーハンが僕の小腹を満たしてくれる。

僕の両親は共働きだ。夏休みなどの長期休業中は兄と二人で留守番をする。昼食は母が用意してくれるが、それだけで足りない分は自分たちで用意する。数年前まで僕は料理ができなかったので、兄がおにぎりやチャーハン、カレーなどを作っ

いつものことだ。不器用な僕はチャーハンを作るだけで多くの苦難を乗り越えなければならぬのだ。ようやく完成したチャーハンを口に運ぶと、達成感と安ど感で何倍もおいしく感じられる気がする。

仕事から帰った母が、僕のチャーハンに気づくと、
「何入れたの？どうやって作ったの？」
と聞いてくる。時々、

「今日のはずいぶんパラパラにできてるね。やるじゃ」とほめてくれたりもする。自分の作ったものがほめられるのは悪い気がしないので、僕はその日のチャーハンについて説明する。すると、こんなものもあるよ、と冷蔵庫のネギのみじん切りや、すりおろしにんにくの存在を教えてください。いつも母は僕のチャーハンのレベル上げを手助けしてくれる。次回はそれらを使おうと思っていると、母がはつとした顔をおひつを探す。そしておひつのふたを開けて絶望の声をあげる。

てくれた。僕は兄に言われるがまま手伝うだけだった。だが、中学生になった最近では、見よう見まねでチャーハンを作るようになった。だが、兄のようにネギやチャーシューを入れたり、母のように本当に細かな具をたくさん入れたり、なんてことはまだまだできない。それでも自分でチャーハンを作るのが楽しいのだ。

ご飯が油を吸ってテカテカします。まだかたまりになっているご飯をへらで崩しながら炒めていくと、今度はご飯が焦げだすので、急いでかき混ぜないといけない。あまり急いでかき混ぜるとご飯が周りに飛び散る。コンロの周りだけでなく床にも落ちるので、また焦ってしまう。次に卵を入れるともう時間との勝負。固まる卵はご飯とうまい具合に混ざってくれない。調味料も素早く入れないと周りが焦げてしまう。こんな時に限って上手く調味料のふたが開かなかったり、残り少なくなった醤油が飛び散ったりと想定外のトラブルが起る。調味料を入れすぎてご飯を足していくうちに、完成したチャーハンが特盛サイズになるのも

「夜の分のご飯がない！」
キツとぼくをにらむ様に見るので、僕は「すみませーん。」
と自室に逃げようとするが、母につかまってお米をとぐ。炊飯器のスイッチを押すとやっと僕のチャーハンづくりは終わる。

我が家は毎日ご飯を炊く。朝一番に炊飯器を開けたとき、もわつと出てくる大量の湯気の奥にたつぷりのご飯が見えると、僕はテンションが上がる。しゃもじでご飯を切り混ぜながら家族の茶碗によさうのは僕の役目だ。兄や自分の大きい茶碗にたつぷりと、保育園児の弟には小さな茶碗に軽く、おいしいおいしいとご飯を食べる弟を見ていると、あることを思いついた。そうだ、今度僕のチャーハンを弟に食べさせてやろう。そのために、これからは、ごめん。夜ご飯の分のご飯がなくなること

第四十八回「ごはん・お米とわたし」作文コンクールに、県内各地から応募された二百三十八点の作品を読ませていただき、「お米・ごはん」は、今でも私たちの生活としっかりと結びつき、心の豊かさを育むことにもつながっていると感じます。家族が農家で、米作りをしている姿を見たり、仕事を手伝ったりする中で、仕事の大変さとともに、心を込めて立派な稲を育て、おいしいお米を作っていくことの喜びと誇りを感じ取っている人がいます。学校の学習で米作りを体験し、毎日食べているお米がどのようにして作られていくのかを学び、おいしいお米が食べられることへの感謝の思いを感じる人もいます。家族とともにごはんを作り、一緒に食卓を囲む中で、家族の愛情と絆の強さをあらためて実感する人もいます。春、夏、秋…と稲が育っていく田んぼの美しい風景に目を見はり、美しい言葉で感動を綴っている人もいます。まさにこれまで大切にされてきた、そしてこれからも伝え続けていきたい「お米・ごはん」の文化です。

米沢市立第四中学校の黒澤堅仁さんが、全国農業協同組合中央会会長賞を受賞されたことに心からお祝い申し上げます。そして、ここでは、県審査において、山形県知事賞、山形県農業協同組合中央会会長賞を受賞された作品を紹介いたします。

一部(小学校一年生から三年生)

○「ぼくとおにぎり」

(山形市立第四小学校 二年 石澤悠大 山形県知事賞)
病院へ行った帰りにお母さんと立ち寄った八百屋さんで、偶然出会ったできたてのおにぎりのおいしさを豊かに表現しています。「ごはんをおいしく食べられるように、もっとじょうぶな体になりたいです」と表現されているところから、悠大さんのごはん、特に以前出会ったおにぎりの思い出の大きさが伝わってきます。

○「私の幸せ！手作り塩むすび」

(鶴岡市立京田小学校 三年 水野ひかり 山形県農業協同組合中央会会長賞)

ひかりさんの毎日の生活での出来事と、お米やごはん、おにぎりとの関わりのエピソードを豊かに表現しています。米を研ぐところから、塩むすび作り挑戦した様子が順序よく詳しく表現されているので、「塩むすびが大好き！」というひかりさんの思いが、読み手である私たちに強く伝わってきます。

二部(小学校四年生から六年生)

○「一粒が生きている」

(最上町立大堀小学校 六年 加藤零風 山形県知事賞)
去年天国に旅立ってしまった零風さんのおばあちゃん「久美ちゃん」への

第四十八回「ごはん・お米とわたし」図画コンクールに、全国の小・中学校から四万二千九百四十三点の作品が寄せられました。県内からは昨年度を上回る千八十九点の応募がありました。多くの子どもたちが意欲的に作品を制作し出品してくれたことを、大変嬉しく思います。本コンクールに応募された小・中学校の皆さんが、絵の制作を通して水田農業への理解と学びを深め、日本の主食であるお米やごはん食を大切にできる人へと成長されることを、心から願っております。

たぐさんの応募作品を見せていただいていたことは、お米やごはん食に関して絵の主題は様々でしたが、募集要項の趣旨や課題をよく理解しており、家族や仲間、地域の方々などの人の温かさや、食を通してむすびつきを強く感じさせる作品が多かった、ということですので。そのため、審査をしても終始穏やかで優しい気持ちになったところです。

審査するにあたっては、お米やごはん食に関する体験や思い出を、作者ならではの見方・感じ方で捉えて自分らしく表現できたかどうかを大切にしました。

今年度は一昨年、昨年に引き続き本県の二作品が全国で優秀賞に入賞するという嬉しい結果となりました。誠におめでとうございます。ここでは、山形県知事賞、山形県農業協同組合中央会会長賞を受賞された作品を紹介します。

一部(小学校一年生から三年生)

○「たうえのひ」

(尾花沢市立宮沢小学校 一年 加藤亮太 山形県知事賞)
一生懸命田植えのお手伝いをしたのしょう。田植えの日の情景を思い出しながら、苗を一本一本丁寧に植えている姿を描きました。背景に広がっている水田の明るい水色が美しく、その中で三名の人物がにこやかに作業している様子がほほえましい作品です。田植えの機械や道具類も細部まで丁寧に描かれており、興味関心を持ったことが素直に表現されています。作者の田植えを体験した時の気持ちが大変よく伝わってきます。

○「えんそくで、おなかいっぱいごはんを食べた」

(尾花沢市立尾花沢小学校 二年 三浦陽太 山形県農業協同組合中央会会長賞)
遠足でお弁当を食べた場面を、イメージを大事にしなが楽しんで描いた作品です。画面に大きく弁当箱を取り入れてその向こうに人物を描き、こんなにおいしいお弁当だったよと、作者が誇らしく紹介してくれているようです。特に弁当の左半分を占めているごはんの描写が、その粒の形や色合いから大変おいしそうで魅力的です。また、青と黄色の色の対比も鮮やかで、元気でインパクトのある印象の仕上がりになりました。

二部(小学校四年生から六年生)

深い愛情と、「ごはんの一粒一粒を見るたびに鮮やかによみがえってくる「久美ちゃん」との思い出が、読み手である私たちの心にも、温かさとともに伝わってきます。「久美ちゃん」が作ってくれた「ごはんのおいしさと、人を大切に思う気持ちは零風さんの心の中で生き続け、おいしいごはんを作ることや誰かとともに食べることで、人の心から人の心へと伝えられていくと信じています。

○「一粒の米」

(大蔵村立大蔵小学校 六年 伊藤学玖 山形県農業協同組合中央会会長賞)

幼い頃から一粒もお米を残さないことを心がけている学玖さん。米農家を営むお父さんの実家で、おじいちゃんやおじさんとの関わりや自然災害、手伝いを通して感じた米作りの大変さが詳しく記されています。そして、米作りに関わる人たちの苦労があるからこそ「一粒のお米でも大切に食べていこうとする文化が根づいてきたのだ」という学玖さんの実感が伝わってきます。色彩鮮やかな表現からも、学玖さんが田んぼの様子を普段から観察していることがよくわかります。

三部(中学生)

○「祖父の背中を追って」

(米沢市立第二中学校 一年 水吉琥太郎 山形県知事賞)

琥太郎さんが、祖父との会話を通して、米作りはもちろん野菜作りも含めた農業に携わる祖父の思いを知り、その喜びと誇りを見事に表現しています。さらに、日本の農業にも広く目を向けています。農業について祖父と語り合う中で、祖父の生きてきた歴史に思いを馳せ、自分自身の将来に向けた覚悟をもつ終末は感動的です。

○「僕のチャールズ」

(米沢市立第一中学校 一年 戸田寛幸 山形県農業協同組合中央会会長賞)

夏休みの昼食に、寛幸さんが自分で作ったチャールズ。これまでの兄の手伝い役から一歩進み、見よう見まねでチャールズづくりに挑戦する寛幸さんの姿が生きて生きと綴られています。できあがりをはめられたり、アレンジの仕方を教えてもらったりして、寛幸さんの料理の腕がさらに上がりそうです。教えてくれるお母さんとのやりとりも、ユーモラスに描かれていて、家族との温かい心のつながりが伝わる作品になっています。

山形県学校奨励賞

今年度の山形県学校奨励賞は、大蔵村立大蔵小学校と米沢市立第四中学校が受賞されました。

○「田植え体験を楽しもう」

(米沢市立南原小学校 五年 遠藤優馬 山形県知事賞)

画用紙いっぱい大きな二つの米粒を描いています。構図の工夫がみられ面白い作品です。米粒の中には田植えをする人の様子や山形県の田園風景、苗を力強く持つ人物の手が描かれています。まるでごはんをいただくときに一つの米粒を見て、田植え体験をした時の様子を思い出しているかのように思えます。クレヨンや絵の具など複数の描画材を効果的に用いて丁寧に描きこんでおり、そのことで作品の完成度が高まりました。

○「ばあばのおにぎり世界」

(鶴岡市立斎小学校 四年 遠藤澄人 山形県農業協同組合中央会会長賞)

おばあさんからにぎってもらったおにぎりを手に取り、嬉しそうにほおばる子どもたちの様子が描かれ、温かみのある作品となっています。世界「おいしい」と思っているおにぎりをたくさん並べて描いたり、お米の粒が光って見えるように色使いを工夫したりしている点からも、作者のおばあさんやおにぎりへの思いが伝わってきます。海苔の描写も白米のおいしさをひきたてており、絵を見ている側もつい食べたくなってしまふような表現力です。

三部(中学生)

○「おいしいお米 おいしいおむすび」

(米沢市立第二中学校 二年 加藤晃士郎 山形県知事賞)

画面中央におにぎりをにぎる手を大胆に描き、作者の表現したかったことがストレートに伝わってきます。手についた米粒までリアルに表し、またやさしくにぎっていることがわかる手の描写などから、愛情がいっぱいつまったおいしいおにぎりであることが想像できる作品となっています。やわらかい同一の色調でまとめていることで、絵全体に統一感が生まれ、やさしさとぬくもりまでよく表現しています。

○「おじいちゃんの田んぼで稲刈り」

(山形市立第五中学校 二年 高橋桃子 山形県農業協同組合中央会会長賞)

輝くような明るさの色調から、収穫の喜びがとても感じられる絵に仕上がっています。特に人物の表現力が素晴らしく、生き生きとした表情がとても魅力的です。彩色にも工夫をこらしており、両手いっぱい抱えた稲束にも力強さや生命力があります。また、画面奥にいる笠をかぶった人物まで丁寧に描かれており、空間に奥行きも感じられます。秋晴れの一日の澄み切った空気感までよく表されています。

山形県学校奨励賞

今年度の山形県学校奨励賞は、尾花沢市立尾花沢小学校と鶴岡市立鶴岡中学校が受賞されました。

第48回	第47回	第46回	第44回	第43回	第42回
<p>山形県 ●県知事賞 石澤 悠大 (山形市) 加藤 零嵐 (最上町) 水吉誠太郎 (米沢市) ●県中央会会長賞 水野ひかり (鶴岡市) 伊藤 学玖 (大蔵村) 戸田 寛幸 (米沢市) ●優秀賞 東海林淑希 (山形市) 丹野 彩樹 (村山市) 矢作 莉夢 (大蔵村) 三浦 莉央 (鮎川村) 渡部 敬太 (高畠町) 渡倉 寛介 (鶴岡市) 平 農備 (村山市) 仲田 百杏 (高畠町) 安食 菜夏 (戸沢村) 田村 理音 (米沢市) 鈴木 聡真 (米沢市) 梅津 琴美 (米沢市) 山田 悠太 (白鷹町) 紺野 心夢 (白鷹町) 高橋 羽奏 (飯豊町) ●学校奨励賞 大蔵村立大蔵小学校 米沢市立第四中学校</p>	<p>山形県 ●県知事賞 松田 彩未 (庄内町) 熊谷 大輔 (東根市) 藤村 愛依 (米沢市) ●県中央会会長賞 梁瀬 聖希 (大蔵村) 中島 尊帆 (最上町) 小笠原晃穂 (鶴岡市) ●優秀賞 佐藤 茉優 (真室川町) 烏 円花 (山形市) 矢作 莉夢 (大蔵村) 桑原 鶴斗 (鶴岡市) 五十嵐友太郎 (山形市) 佐藤 優真 (真室川町) 茂木 麗美 (米沢市) 加藤 愛 (南陽市) 鈴木昭太郎 (高畠町) 鈴木寧々花 (米沢市) 菊地 咲良 (白鷹町) 加藤寿々風 (米沢市) 竹田 春輝 (高畠町) 手塚 暉斗 (高畠町) ●学校奨励賞 米沢市立北部小学校 米沢市立第四中学校</p>	<p>山形県 ●県知事賞 添川 夢叶 (高畠町) 齋藤 優空 (三川町) 有賀 咲星 (鶴岡市) ●県中央会会長賞 佐藤 来彌 (真室川町) 鈴木亜悠陸 (鶴岡市) 林谷さくら (山形市) ●優秀賞 土屋 晴路 (山形市) 松浦 李那 (山形市) 佐藤 衣鞠 (三川町) 佐藤 凧 (鶴岡市) 高橋 陽 (真室川町) 中島 尊帆 (最上町) 田村 理音 (米沢市) 渡辺 琉生 (最上町) 宮澤 桃季 (米沢市) 我妻 尚哉 (高畠町) 寒河江万葉 (南陽市) 戸田 和幸 (米沢市) 鈴木百々花 (米沢市) 石川 和翔 (米沢市) 菅原 紗香 (白鷹町) ●学校奨励賞 高畠町立和田小学校 鶴岡市立朝日中学校</p>	<p>山形県 ●県知事賞 相田 瑛舞 (南陽市) 安部くるみ (米沢市) 丸谷 真嬉 (鶴岡市) ●県中央会会長賞 田村 理音 (米沢市) 宗形 柚希 (山形市) 小林 柊也 (川西町) ●優秀賞 横山 莉子 (山辺町) 菅原 菜央 (東根市) 矢口 美颯 (最上町) 北澤 優志 (米沢市) 森谷 菜南 (鶴岡市) 後藤 怜皇 (最上町) 安食 日涼 (戸沢村) 我妻 尚哉 (高畠町) 伊藤 清子 (米沢市) 佐藤 舜太 (米沢市) 早坂 菜摘 (米沢市) 戸田 和幸 (米沢市) 山崎 遙斗 (米沢市) 保科 紅葉 (川西町) 中目 量太 (鶴岡市) ●学校奨励賞 米沢市立北部小学校 鶴岡市立鶴岡第三中学校</p>	<p>山形県 ●県知事賞 柴田 皇 (山形市) 佐藤 柊 (庄内町) 手塚 大地 (米沢市) ●県中央会会長賞 杉浦 凜 (米沢市) 原田 昊士 (鶴岡市) 丸谷 亮太 (鶴岡市) ●優秀賞 峯田 孝誠 (米沢市) 齋藤 夢佳 (村山市) 土田 覇瑠 (村山市) 天野 悠都 (村山市) 青木 舞佳 (米沢市) 安部くるみ (米沢市) 加藤 花音 (高畠町) 本間 智妃 (三川町) 高橋龍之介 (南陽市) 樋口 佳汰 (白鷹町) 伊藤 葵 (川西町) 齋藤由希哉 (高畠町) 佐藤 弥桜 (鶴岡市) 梅本 京香 (鶴岡市) 疋田 夏海 (鶴岡市) ●学校奨励賞 村山市立橋岡小学校 川西町立川西中学校</p>	<p>山形県 ●県知事賞 安部くるみ (米沢市) 佐藤 舜太 (米沢市) 鈴木 雄貴 (米沢市) ●県中央会会長賞 佐藤 花音 (三川町) 千田 悠悟 (南陽市) 伊藤 芽流 (山形市) ●優秀賞 鈴木 明音 (山形市) 佐藤 純真 (高畠町) 齋藤 遥真 (最上町) 阿部 璃空 (新庄市) 手塚 遥斗 (高畠町) 手塚 大地 (米沢市) 加藤 櫻子 (高畠町) 星 七菜子 (新庄市) 阿部 真直 (最上町) 平清水なおり (山形市) 高橋 陸斗 (山形市) 大橋 彩未 (米沢市) 佐藤慶太郎 (川西町) 鈴木 広美 (米沢市) ●学校奨励賞 米沢市立塩井小学校 米沢市立第二中学校</p>
<p>全国 ●全国農業協同組合中央会会長賞 黒澤 堅仁 (米沢市)</p>	<p>全国 ●農林水産大臣賞 田村 理音 (米沢市) ●優秀賞 松田 彩未 (庄内町) 藤村 愛依 (米沢市) ●学校奨励賞 米沢市立北部小学校</p>	<p>全国 ●文部科学大臣賞 茂木 耀義 (米沢市) ●優秀賞 齋藤 優空 (三川町) 有賀 咲星 (鶴岡市) ●学校奨励賞 米沢市立南原小学校</p>	<p>全国 ●文部科学大臣賞 青木 舞佳 (米沢市) ●農林水産大臣賞 園部 杏利 (庄内町) ●優秀賞 丸谷 真嬉 (鶴岡市) ●学校奨励賞 米沢市立北部小学校 庄内町立余目第三小学校</p>	<p>全国 ●優秀賞 佐藤 柊 (庄内町)</p>	<p>全国 ●全国農業協同組合中央会会長賞 早坂 佑羽 (大蔵村) ●優秀賞 佐藤 舜太 (米沢市)</p>
<p>山形県 ●県知事賞 加藤 亮太 (尾花沢市) 遠藤 優馬 (米沢市) 加藤晃士郎 (米沢市) ●県中央会会長賞 三浦 陽太 (尾花沢市) 遠藤 澄生 (鶴岡市) 高橋 桃子 (山形市) ●優秀賞 石沢 大地 (尾花沢市) 伊藤 優牙 (南陽市) 鈴木倫太郎 (尾花沢市) 小貫 愛華 (尾花沢市) 高橋 丈琉 (尾花沢市) 秋保 夏鈴 (尾花沢市) 小林 由芽 (最上町) 瀬尾優香菜 (山形市) 小林 亜門 (川西町) 齋藤 和音 (鶴岡市) 柿崎 翠里 (山形市) 川合 海音 (山形市) 佐藤 七緒 (鶴岡市) 佐藤 祐菜 (鶴岡市) 渡会ひより (鶴岡市) ●学校奨励賞 尾花沢市立尾花沢小学校 鶴岡市立柳引中学校</p>	<p>山形県 ●県知事賞 押野 咲紀 (山形市) 柴田 幸生 (山形市) 川合 海音 (山形市) ●県中央会会長賞 瀧澤 永吉 (高畠町) 笹川 夢叶 (高畠町) 浅野 来菜 (米沢市) ●優秀賞 栗田 泰成 (真室川町) 鈴木 楓麻 (南陽市) 早坂 優希 (大石町) 加藤 凜空 (村山市) 矢作 蒼梧 (大石町) 伊藤 学玖 (大蔵村) 松田 蒼士 (白鷹町) 柴田 鉄汰 (尾花沢市) 遠藤 嘉乃 (尾花沢市) 加藤 璃子 (舟形町) 木村 佳恵 (山形市) 横山 瑠香 (米沢市) 猪口 陽向 (米沢市) 佐藤 暖 (天童市) 安野 雅彩 (鶴岡市) ●学校奨励賞 山形大学附属小学校 米沢市立第二中学校</p>	<p>山形県 ●県知事賞 殿岡 直橙 (南陽市) 瀧川 幸生 (尾花沢市) 井田 大成 (山形市) ●県中央会会長賞 高梨 倅芽 (川西町) 瀧澤 大河 (山形市) 川合 海音 (山形市) ●優秀賞 庄司 圭吾 (尾花沢市) 畠腹 啓翔 (新庄市) 五十嵐友菜 (尾花沢市) 松田 彩那 (庄内町) 齋藤 一花 (山形市) 荒木 怜人 (村山市) 落合 絢音 (尾花沢市) 佐藤 珠々 (山形市) 阿部 桜貴 (高畠町) 木村 佳恵 (山形市) 後藤 大駕 (米沢市) 漆山 陽向 (山形市) 鈴木 大虎 (飯豊町) 伊藤 美緒 (鶴岡市) ●学校奨励賞 山形大学附属小学校 山形市立第五中学校</p>	<p>山形県 ●県知事賞 秋保 一路 (尾花沢市) 木村 佳恵 (山形市) 古内 慧士 (山辺町) ●県中央会会長賞 工藤 壮真 (新庄市) 星川 煌 (尾花沢市) 朝倉 春花 (山形市) ●優秀賞 関 心和 (白鷹町) 大場 雄翔 (最上町) 石山 蒼 (最上町) 鈴木 瑠桜 (米沢市) 佐藤 花音 (三川町) 西尾アシュリン (尾花沢市) 尾崎ありさ (尾花沢市) 尾崎 翠玖 (尾花沢市) 狩野 祐輔 (高畠町) 岩浪 廉 (鶴岡市) 原田 陽菜 (山形市) 鈴木妃依里 (山形市) 川口 憧 (山辺町) 宗田 萌 (山辺町) 齋藤 美維 (鶴岡市) ●学校奨励賞 尾花沢市立尾花沢小学校 山辺町立山辺中学校</p>	<p>山形県 ●県知事賞 遠藤 嘉乃 (尾花沢市) 富樫 優有 (山形市) ●県中央会会長賞 佐藤 瑛太 (尾花沢市) 石山 万莉 (尾花沢市) 加藤百合亜 (新庄市) ●優秀賞 安彦咲汰朗 (南陽市) 二戸 心菜 (最上町) 後藤 莉渚 (尾花沢市) 手塚 悠生 (尾花沢市) 原田 僚 (尾花沢市) 永沢 真彩 (尾花沢市) 齋藤 真輝 (鶴岡市) 村上 菜生 (三川町) 佐藤 結望 (三川町) 高橋 伊吹 (尾花沢市) 原田 陽菜 (山形市) 木元素玖凜 (鶴岡市) 薬科ひなた (米沢市) 松田 桃香 (鶴岡市) 箱山 妃南 (新庄市) ●学校奨励賞 尾花沢市立玉野小学校 山形市立金井中学校</p>	<p>山形県 ●県知事賞 和田 紗采 (山形市) 秋保 早希 (東根市) 富樫 優有 (山形市) ●県中央会会長賞 加藤 朱美 (南陽市) 元木 煌瑛 (東根市) 石倉 妃華 (山辺町) ●優秀賞 小野健太郎 (山形市) 佐藤この実 (鶴岡市) 佐藤 明咲 (最上町) 手塚 遥斗 (高畠町) 浦山 結羽 (米沢市) 富樫 太一 (尾花沢市) 三坂 耕太 (山形市) 二瓶 琉音 (尾花沢市) 志村直太郎 (尾花沢市) 澤 悦英 (高畠町) 渡邊 和哉 (山形市) 齋藤 桃々 (山形市) 松田 桃香 (鶴岡市) 鈴木 里桜 (米沢市) 箱山 妃南 (新庄市) ●学校奨励賞 山形大学附属小学校 山形市立金井中学校</p>
<p>全国 ●優秀賞 加藤 亮太 (尾花沢市) 加藤晃士郎 (米沢市)</p>	<p>全国 ●優秀賞 押野 咲紀 (山形市) 川合 海音 (山形市)</p>	<p>全国 ●優秀賞 殿岡 直橙 (南陽市) 井田 大成 (山形市)</p>	<p>全国 ●優秀賞 遠藤 嘉乃 (尾花沢市) 遠藤 真心 (尾花沢市)</p>	<p>全国 ●優秀賞 遠藤 嘉乃 (尾花沢市) 遠藤 真心 (尾花沢市)</p>	<p>全国 ●文部科学大臣賞 井上 花帆 (尾花沢市) ●優秀賞 富樫 優有 (山形市) ●学校奨励賞 尾花沢市立尾花沢小学校</p>

※第45回はコロナ禍のため中止

第41回	第40回	第39回	第38回	第37回	第36回
<p>山形県 ●県知事賞 野川 裕太 (米沢市) 高橋 悠太 (天童市) 佐藤 百華 (米沢市) ●県中央会会長賞 木内 春陽 (東根市) 伊藤 柚葵 (天童市) 松本 季子 (米沢市) ●優秀賞 鈴木 あこ (庄内町) 安部くるみ (米沢市) 中川 峻 (南陽市) 加藤 翼沙 (高畠町) 柴崎 皓大 (最上町) 堀川 遙 (天童市) 大場新之助 (最上町) 伊藤 楓華 (天童市) 大類 渚 (天童市) 佐藤 里菜 (米沢市) 小野 海咲 (最上町) 高橋 夢月 (米沢市) 山木 穂 (鶴岡市) 竹田 勇貴 (米沢市) 鈴木 里桜 (米沢市) 鈴木 楓夏 (山形市) ●学校奨励賞 天童市立津山小学校 米沢市立第二中学校</p>	<p>山形県 ●県知事賞 鈴木 佑佳 (山形市) 佐藤虎太郎 (真室川町) 吉田 ゆい (米沢市) ●県中央会会長賞 畠腹 里玖 (新庄市) 伊藤 晴夏 (三川町) 山口 雅乃 (鶴岡市) ●優秀賞 安部くるみ (米沢市) 中川 峻 (南陽市) 木内 春陽 (東根市) 早坂 涼太 (東根市) 川田 健太 (新庄市) 笠原 莉玖 (新庄市) 小下 健太 (高畠町) 田中 空来 (寒河江市) 佐藤 弥桜 (鶴岡市) 庄司潤一郎 (真室川町) 新野 涼香 (川西町) 橋本 未旬 (米沢市) 高野穂乃花 (山形市) 伊藤 寧音 (山形市) ●学校奨励賞 新庄市立萩野小学校 米沢市立第二中学校</p>	<p>山形県 ●県知事賞 門脇 陽希 (大蔵村) 後藤 芽衣 (河北町) 森村 春輝 (山形市) ●県中央会会長賞 軽部 翔真 (寒河江市) 青木 実央 (新庄市) 留守めぐみ (米沢市) ●優秀賞 後藤 天星 (最上町) 早坂 颯真 (東根市) 加藤 響 (大蔵村) 後藤 有瑠 (高畠町) 伊藤准輝亜 (高畠町) 小澤 爽太 (白鷹町) 五十嵐広大 (鶴岡市) 丸山 美優 (鶴岡市) 打田ゆらら (白鷹町) 荒木 怜 (最上町) 八巻 怜花 (米沢市) 山口 雅乃 (鶴岡市) 今野 佑香 (米沢市) 井上 砂城 (鶴岡市) ●学校奨励賞 大蔵村立大蔵小学校 山形市立第三中学校</p>	<p>山形県 ●県知事賞 佐々木美羅 (米沢市) 高橋満里奈 (新庄市) 小野寺涼太 (鶴岡市) ●県中央会会長賞 阿部 聖音 (酒田市) 佐藤 礼夢 (鶴岡市) 安部 優香 (米沢市) ●優秀賞 上林 奈央 (鶴岡市) 津藤 奏 (山形市) 小野幸治郎 (大蔵村) 早坂 大翔 (大蔵村) 安部 真桜 (米沢市) 田村 健人 (米沢市) 諏訪 琳音 (鶴岡市) 大滝 星矢 (鶴岡市) 佐藤 陽理 (南陽市) 伊藤 日高 (鶴岡市) 伊藤 優太 (山形市) 鈴木 千絵 (南陽市) 高橋真惟子 (南陽市) 石原 花凜 (飯豊町) 清和 怜真 (鶴岡市) ●学校奨励賞 大蔵村立大蔵小学校 鶴岡市立朝日中学校</p>	<p>山形県 ●県知事賞 伊藤 風牙 (鶴岡市) 井上 瑞貴 (米沢市) 松岩 大吾 (米沢市) ●県中央会会長賞 佐竹 巧 (山形市) 笹本 悠奈 (庄内町) 阿部 咲輝 (鶴岡市) ●優秀賞 早坂 大翔 (大蔵村) 安達 涼乃 (大石町) 丸山 美優 (鶴岡市) 渋谷 結 (鶴岡市) 佐藤 光 (鶴岡市) 池田 結 (庄内町) 會田 空翔 (山形市) 大滝 星矢 (鶴岡市) 佐藤 みのり (庄内町) 齋藤 結月 (鶴岡市) 須貝 麗夢 (米沢市) 小野寺拓海 (鶴岡市) 高内 滯奈 (山形市) 井上 れな (鶴岡市) 遠藤 美月 (鶴岡市) ●学校奨励賞 鶴岡市立朝日小学校 米沢市立第四中学校</p>	<p>山形県 ●県知事賞 五十嵐まりあ (山形市) 土門 匠 (天童市) 早川 舞乃 (山形市) ●県中央会会長賞 大滝 楓人 (鶴岡市) 伊藤 琉圭 (鶴岡市) 阿部 咲輝 (鶴岡市) ●優秀賞 森 壮汰 (村山市) 安達 涼乃 (大石町) 阿部 夢叶 (最上町) 横山 陽音 (米沢市) 大滝 星矢 (鶴岡市) 細矢 愛結 (村山市) 太田 里美 (米沢市) 渡部 羅夢 (鶴岡市) 森谷 咲耶 (東根市) 舟山 愛理 (米沢市) 中村梨恵子 (山形市) ●学校奨励賞 鶴岡市立朝日大泉小学校 鶴岡市立朝日中学校</p>
<p>全国 ●優秀賞 野川 裕太 (米沢市) 高橋 悠太 (天童市) 佐藤 百華 (米沢市)</p>	<p>全国 ●全国農業協同組合中央会会長賞 後藤 天羽 (最上町) ●優秀賞 吉田 ゆい (米沢市)</p>	<p>全国 ●農林水産大臣賞 松浦蒼一郎 (庄内町) ●優秀賞 門脇 陽希 (大蔵村) 後藤 芽衣 (河北町) 森村 春輝 (山形市) ●学校奨励賞 庄内町立余目第一小学校</p>	<p>全国 ●優秀賞 小野寺涼太 (鶴岡市)</p>	<p>全国 ●優秀賞 伊藤 風牙 (鶴岡市) 井上 瑞貴 (米沢市) 松岩 大吾 (米沢市)</p>	<p>全国 ●文部科学大臣賞 小林 千紗 (高畠町) ●優秀賞 五十嵐まりあ (山形市) ●学校奨励賞 高畠町立第二中学校</p>
<p>山形県 ●県知事賞 鈴木 大智 (高畠町) 後藤 早希 (東根市) 佐藤 龍心 (鶴岡市) ●県中央会会長賞 安野 世那 (尾花沢市) 渡部 連 (鶴岡市) 村山 弥弥 (山辺町) ●優秀賞 加賀山 蒼 (鶴岡市) 三坂 明日樂 (尾花沢市) 山川 大翔 (山形市) 石山 裕士 (尾花沢市) 伊藤 愛陽 (尾花沢市) 高橋 悠太 (天童市) 菅野 柚杏 (尾花沢市) 齋藤 美維 (鶴岡市) 佐藤 陽菜 (尾花沢市) 伊藤 樹杏 (鶴岡市) 阿部 心暖 (河北町) 齋藤 香奈 (山形市) 齋藤 遥奈 (山形市) 石川 妃咲 (山形市) ●学校奨励賞 尾花沢市立尾花沢小学校 山形市立金井中学校</p>	<p>山形県 ●県知事賞 熊谷飛悠吾 (尾花沢市) 伊藤 拓磨 (尾花沢市) 鎌田 龍也 (山辺町) ●県中央会会長賞 金内 大和 (鶴岡市) 伊藤 未希 (尾花沢市) 工藤 千慧 (山形市) ●優秀賞 石山 竜成 (最上町) 松田 紗和 (鶴岡市) 高橋 晴 (最上町) 星 七菜子 (新庄市) 笠原 未羽 (最上町) 柴崎 大和 (尾花沢市) 齋藤 詩歩 (鶴岡市) 原田 麗 (尾花沢市) 大江 誓羅 (尾花沢市) 稲村 大和 (大蔵村) 田中 未咲 (山形市) 石澤 元乾 (山辺町) 田辺 理紗 (飯豊町) 中島 彩 (山形市) 佐藤 龍心 (鶴岡市) ●学校奨励賞 尾花沢市立鶴子小学校 山形市立金井中学校</p>	<p>山形県 ●県知事賞 三嶋 優 (尾花沢市) 佐藤ひより (山形市) ●県中央会会長賞 江刺さくら (尾花沢市) 早坂 美羽 (尾花沢市) 本澤 育実 (山形市) ●優秀賞 星川 葵 (尾花沢市) 原田 結奈 (尾花沢市) 星川 椿 (尾花沢市) 矢作 結寿 (尾花沢市) 佐藤 愛心 (村山市) 佐藤 なお (鶴岡市) 渡辺 成美 (尾花沢市) 鈴木 来春 (尾花沢市) 齋藤 亜子 (尾花沢市) 菅藤 優成 (尾花沢市) 佐藤 花玲 (鶴岡市) 井上 楓 (山形市) 山口 桃佳 (山形市) 枝松 伶奈 (山形市) 藤原 優衣 (山形市) 齋藤 穂歌 (山形市) ●学校奨励賞 尾花沢市立福原小学校 山形市立第九中学校</p>	<p>山形県 ●県知事賞 阿部 大翔 (尾花沢市) 二瓶 寛太 (山形市) 平間 杏奈 (山形市) ●県中央会会長賞 江刺さくら (尾花沢市) 早坂 美羽 (尾花沢市) 本澤 育実 (山形市) ●優秀賞 五十嵐羽琉 (鶴岡市) 堀江 星琉 (尾花沢市) 笹原 月吹 (尾花沢市) 佐藤 愛心 (村山市) 叶野 空和 (鶴岡市) 長永 千佳 (庄内町) 吉田京次郎 (山形市) 小幡 圭佑 (尾花沢市) 砂田 千夢 (鶴岡市) 東海林玲奈 (尾花沢市) 平間 杏奈 (山形市) 秋葉ひなの (山形市) 渡邊 美佑 (山形市) 平吹 百恵 (山形市) 鎌田美乃里 (山形市) ●学校奨励賞 尾花沢市立福原中部小学校 山形市立金井中学校</p>	<p>山形県 ●県知事賞 押切 零旺 (尾花沢市) 渡辺 成美 (尾花沢市) 高橋 綾香 (山形市) ●県中央会会長賞 渡会 圭悟 (尾花沢市) 日下 和也 (高畠町) 竹田夏奈子 (山形市) ●優秀賞 越前 快斗 (尾花沢市) 尾崎 李果 (尾花沢市) 笹原 優極 (尾花沢市) 叶野 空和 (鶴岡市) 宇田 竜健 (庄内町) 東海林玲奈 (尾花沢市) 本岡 海成 (尾花沢市) 小幡 圭佑 (尾花沢市) 三浦 幸司 (尾花沢市) 佐藤 俊貴 (鶴岡市) 平間 杏奈 (山形市) 梅木 泉美 (山形市) 高橋 真優 (山形市) 横沢 美玖 (南陽市) 齋藤 光 (南陽市) ●学校奨励賞 尾花沢市立福原中部小学校 山形市立第九中学校</p>	
<p>全国 ●優秀賞 加藤 亮太 (尾花沢市) 加藤晃士郎 (米沢市)</p>	<p>全国 ●優秀賞 押野 咲紀 (山形市) 川合 海音 (山形市)</p>	<p>全国 ●優秀賞 殿岡 直橙 (南陽市) 井田 大成 (山形市)</p>	<p>全国 ●優秀賞 遠藤 嘉乃 (尾花沢市) 遠藤 真心 (尾花沢市)</p>	<p>全国 ●優秀賞 遠藤 嘉乃 (尾花沢市) 遠藤 真心 (尾花沢市)</p>	<p>全国 ●農林水産大臣賞 志田 葉月 (山形市) ●学校奨励賞 山形市立第九中学校</p>

「ごほん・お米とわたし」作文・図画コンクール

第36回〜第48回 入賞一覧

作 文 部 門

図 画 部 門

第48回「ごはん・お米とわたし」作文・図画コンクール募集要領

1. 趣 旨

本コンクールは、JAグループがすすめる「みんなのよい食プロジェクト」の一環として、これからの食・農・地域を担う次世代の子どもたちに、お米・ごはん食、稲作など、日本の食卓と国土を豊かに作りあげてきた水田農業全般についての学びを深めてもらうとともに、子どもたちの優れた作品を顕彰することを通じて、お米・ごはん食・日本食の重要性を広く周知することを目的として実施します。

2. 課 題 (作文・図画両部門共通)

毎日のごはんでおいしかったことや家族とのコミュニケーション、お米・ごはん食に関しての思い出や考えたことなどを素直な気持ちで自由に表現して下さい。

3. 応募資格

小学校および中学校に在籍する児童・生徒。
特別支援学校の小学部、中学部に在籍する児童・生徒。

4. 応募規格 (枚数・大きさ)

【作文部門】

- 1部 小学校1年生～3年生 (400字詰め原稿用紙2枚以内、またはマス目の大きい原稿用紙で800字以内)
 - 2部 小学校4年生～6年生 (400字詰め原稿用紙3枚以内)
 - 3部 中学校1年生～3年生 (400字詰め原稿用紙4枚以内)
- ㊦ **作文用紙1枚目の1行目に作品の題名、2行目に学校名、学年、氏名、3行目から本文を書き出してください** (学校名、学年、氏名が3行になる場合は4行目から本文を書き出してください)。
- ㊦ 本人による直筆を原則とし、パソコンなどにより作成した原稿は応募不可とします。

ただし、視覚・手に障害のある児童・生徒については、その旨を特記事項として応募票の欄外に記述した場合のみ、パソコンなどで作成した原稿の応募を認めます。

【図画部門】

- 1部 小学校1年生～3年生
 - 2部 小学校4年生～6年生
 - 3部 中学校1年生～3年生
- B3判 (364×515ミリ)、もしくは四つ切り (380×540ミリ) の市販画用紙を使用。画材は特に制限しません。
- ㊦ 図画作品でスローガンや文字を入れたポスター的なものや台紙に貼ったものは応募できません。

5. 応募規則

- (1) 作文・図画とも課題にそった作品を対象とします。
- (2) 応募は本人の未発表でオリジナルの作品に限ります。また、他のコンテンツに応募していない作品に限ります。他人の写真や作品を模写・模倣したものは応募できません。著作権、商標権、肖像権など、他者の権利を侵害する作品は応募できません。
- (3) ひとりで1部門に2点以上の応募はできません。2点以上応募の場合は、**2点とも審査対象外となる場合があります。**
- (4) 合作は応募できません。
- (5) 学校で応募の際は、別添の応募者一覧表 (作文部門7ページ、図画部門8ページ) を切り取りもしくはコピーしたうえで記入し、必ず同封してください。**コピーする場合は、必ずA4サイズでコピーしてください。**
- (6) 作品には、1点ごとに次の事項を記入した別添の応募票 (6ページ) をつけてください。つける位置は最後のページの裏面、図画は裏面中央とします。①作品の題名②氏名③学校名④学年・組⑤学校の所在地 (郵便番号・電話番号)⑥JA (農業協同組合) 名
- (7) 全応募作品を、表彰式終了後の令和6年2月下旬ごろ、各JAから応募校を通じて応募者に返却いたします。また、全国コンクールの各大臣賞および全国農業協同組合中央会会長賞受賞作品ならびに山形県コンクールの県知事賞および県農業協同組合中央会会長賞受賞作品は、レプリカを作成し、大臣賞受賞作品は永年、県知事賞・県農業協同組合中央会会長賞は1年間、「協同の杜」JA研修所に展示します。なお、作品の著作権は全国農業協同組合中央会および山形県農業協同組合中央会に帰属します。
- (8) 作品に応募することによって、応募作品をJAグループ (後援協賛団体を含む) の広報活動および諸事業活動のために利用することに予め承諾したものとします。その際、作文の部分的な抜き出しや、図画のサイズの変更・トリミングなど一部改変させていただく場合があります。印刷等の都合上、実際の作品と色が多少異なる場合がございます。
- (9) 記入いただいた個人情報、入賞通知・発表や表彰式などのほか、県名、学校名、学年、氏名等の一部情報についてはプレスリリース等のメディアへの発表、JAグループ (後援協賛団体を含む) の広報媒体 (入賞作品集やホームページ等) への露出や作品展示などの広報活動および諸事業活動で公表・使用することがあります。上記および、法令等により開示を求められた場合を除き、承諾なくコンクール関係者以外の第三者に個人情報を提供することはありません。
- (10) 作品に応募することによって、上記の個人情報に承諾したものとします。
- (11) 入賞通知後でも、当該入賞作品がすでに発表済みやオリジナルでない作品と判明した場合、応募規則への違反や、虚偽の報告が判明した場合は受賞を取り消します。

6. 締 切 日

令和5年9月29日(金) ※必着

7. 全国段階との関連

- (1) 県段階で予選審査を行い、各部門各ごとに点数を全国コンクールに推薦します。

- (2) 全国コンクール入賞作品 (優秀賞除く) 以外の作品を対象に、山形県コンクールの審査を行い、県段階の入賞作品を決定します。

8. 審査員

【全国コンクール】

◎作文部門審査会委員長
中村 靖彦 氏 (東京農業大学客員教授)
◎作文部門
設楽 敬一 氏 ((公社) 全国学校図書館協議会理事長)
竹村 和子 氏 ((公社) 全国学校図書館協議会常務理事・事務局長)
堀米 薫 氏 (児童文学作家、(一社) 日本児童文芸家協会理事)
真鍋 和子 氏 (児童文学作家、(一社) 日本児童文学者協会評議員)
◎図画部門審査会委員長
尾木 直樹 氏 (教育評論家、法政大学名誉教授、臨床教育研究所「虹」所長)
◎図画部門
岡田 門治 氏 (元株式会社NHKアート代表取締役社長、日本美術家連盟連合員)
岡村 泰成 氏 (美術家集団「Moss Spirits」代表、日本美術家連盟連合員)
小柳津須香枝 氏 (日本美術家連盟連合員)
西巻 茅子 氏 (絵本作家)
東良 雅人 氏 (元文部科学省初等中等教育局視学官、京都市教育委員会総合教育センター副所長)

【山形県コンクール】

県教育庁および小・中学校教員 (作文部門5名、図画部門3名)

9. 審査基準

別添審査基準 (作文部門4ページ、図画部門5ページ) による。

10. 賞

【全国コンクール】

- (1) 内閣総理大臣賞 作文・図画部門各1名——計2名
賞状と副賞 (記念盾及びお米券、記念メダル)
- (2) 文部科学大臣賞 各部門各ごとに1名——計6名
賞状と副賞 (お米券及び記念メダル)
- (3) 農林水産大臣賞 各部門各ごとに1名——計6名
賞状と副賞 (お米券及び記念メダル)
- (4) 全国農業協同組合中央会会長賞 各部門各ごとに1名——計6名
賞状と副賞 (お米券及び記念メダル)
- (5) 優 秀 賞 各部門各ごとに15名——計90名
賞状と副賞 (記念メダル)
- (6) 学 校 奨 励 賞 内閣総理大臣・文部科学大臣・農林水産大臣
各賞受賞者所属校——計14校 賞状

【山形県コンクール】

- (1) 山形県知事賞 各部門各ごとに1名——計6名 賞状と副賞
- (2) 山形県農業協同組合中央会会長賞 各部門各ごとに1名——計6名 賞状と副賞
- (3) 優 秀 賞 各部門各ごとに5名——計30名 賞状と副賞
- (4) 学 校 奨 励 賞 各部門小学校1校中学校1校——計4校 賞状と副賞

11. 入賞発表・表彰式 (作文・図画部門共通)

【全国コンクール】

- (1) 入賞発表 令和5年12月上旬
- (2) 表 彰 式 令和6年1月6日(土) (入賞校、入賞者宛通知します。)

【山形県コンクール】

- (1) 入賞発表 令和6年1月下旬 (予定)
- (2) 表 彰 式 令和6年2月中旬 (予定) (入賞校、入賞者宛通知します。)

12. 主催・後援・協賛

【主催】
農業協同組合/都道府県農業協同組合中央会/全国農業協同組合中央会
【後援 (予定)】
文部科学省/農林水産省/子ども家庭庁/全国都道府県教育委員会連合会/全国市町村教育委員会連合会/日本放送協会 (NHK) /全国連合小学校長会/全日本中学校長会/ (公社) 全国学校図書館協議会/ (公社) 日本PTA全国協議会/ (公社) 米穀安定供給確保支援機構
【協賛】
全国農業協同組合連合会/全国共済農業協同組合連合会/農林中央金庫/全国厚生農業協同組合連合会/ (株) 日本農業新聞/ (一社) 家の光協会/ (一社) 全国農協観光協会

13. 受付窓口

県内の各JAを受付窓口とします。
作品応募の際は、最寄りのJAへお持ち込みください。

14. 問合せ先

次にお問い合わせください。

〒990-0042 山形市七日町三丁目1番16号
山形県農業協同組合中央会 (JA山形中央会)
総務部「作文・図画コンクール」係 (担当: 長峯・八城)
TEL: 023-634-8111 FAX: 023-633-1754
E-mail: soumu@nokyo.jp

第48回

「ごはん・お米とわたし」作文・図画コンクール審査経過の概要

■ 応募数

作文: 238点
図画: 1,008点 合計 1,246点

区分	1部	2部	3部	計
作文部門	83点	95点	60点	238点
図画部門	541点	401点	66点	1,008点

■ 審 査

(1) 県予選審査期日

作文部門 令和5年10月20日(金)
図画部門 令和5年10月18日(水)

(2) 全国コンクール審査期日

作文部門 令和5年11月14日(火)
図画部門 令和5年11月17日(金)

(3) 県コンクール審査期日

作文部門 令和6年1月18日(木)
図画部門 令和6年1月17日(水)

■ 審査委員

【県コンクール】

作文部門 (5名)

審査委員長 樋口 潤一 (山形市立第十小学校 校長)
笹原美百紀 (天童市立第三中学校 校長)
海谷奈美紀 (山辺町立山辺小学校 教諭)
熊谷 周 (山形大学附属小学校 教諭)
岩淵真帆子 (天童市立第一中学校 教諭)

図画部門 (3名)

審査委員長 建部 敦 (大江町立左沢小学校 校長)
庄司雅和 (山形市立蔵王第一中学校 校長)
芦野繁樹 (山形大学附属小学校 教諭)

■ 審査結果

(1) 県コンクール

- ・山形県知事賞 作文部門3名/図画部門3名
- ・山形県農業協同組合中央会会長賞 作文部門3名/図画部門3名
- ・優 秀 賞 作文部門15名/図画部門15名
- ・学 校 奨 励 賞 作文部門2校/図画部門2校

(2) 全国コンクール (県内入賞者数)

- ・全国農業協同組合中央会会長賞 作文部門1名
- ・優 秀 賞 図画部門2名

年 度	部 門	1 部	2 部	3 部	合 計
平成 17 (第30回)	作文 図画	67 523	87 496	156 37	310 1,056
18 (第31回)	作文 図画	33 429	217 499	227 29	477 957
19 (第32回)	作文 図画	44 488	117 418	225 27	386 933
20 (第33回)	作文 図画	58 550	84 412	231 27	373 989
21 (第34回)	作文 図画	77 521	95 376	235 26	407 923
22 (第35回)	作文 図画	68 531	151 308	196 67	415 906
23 (第36回)	作文 図画	56 531	66 290	266 32	388 853
24 (第37回)	作文 図画	51 424	61 309	211 36	323 769
25 (第38回)	作文 図画	56 450	83 372	150 19	289 841
26 (第39回)	作文 図画	95 353	134 382	150 19	379 754
27 (第40回)	作文 図画	122 353	167 370	178 45	467 768
28 (第41回)	作文 図画	124 464	165 361	121 64	410 889
29 (第42回)	作文 図画	133 500	161 344	86 48	380 892
30 (第43回)	作文 図画	86 462	136 349	94 48	316 859
31 (第44回)	作文 図画	122 531	147 400	123 39	392 970
令和 2 (第45回)		コロナ禍のため中止			
3 (第46回)	作文 図画	59 382	107 241	78 34	244 657
4 (第47回)	作文 図画	57 479	112 302	75 42	244 823
5 (第48回)	作文 図画	83 541	95 401	60 66	238 1,008